

令和2年4月17日

保護者の皆様

家庭学習について

中央区立日本橋中学校

校長 平野 雅仁

新型コロナウイルス感染拡大にともなう臨時休業の実施に際しましては、皆様から多大なるご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、子どもたちの命を守るため、5月6日(水)までを臨時休業期間としました。「うつらない。そして、うつさない。」三つの密(密閉、密集、密接)を避け、感染リスクを下げるのが大切です。「このくらい大丈夫」という油断が、命取りになるということを今一度、一人一人の行動抑制をしっかりと確認して、子どもたちに伝えることが求められています。

一方、休業期間が長くなると学習の停滞が気になります。与えられた一日をどのように過ごすのか。自己調整力が大切になります。今日一日の中で、主体的に何を学ぶのか、いつ学ぶのか、どのように学ぶのか。自分で計画を立て、実行していく自律心を身に付ける絶好の機会でもあります。

東京オリンピック・パラリンピック大会が延期になったことで、アスリート達が、どのような気持ちをもったか、始業式に紹介しました。陸上男子短距離の桐生祥秀選手は、一年程度延期されることについて「開催がいつになろうと僕自身の目標は変わらないので、来るべきタイミングで最高のパフォーマンスを発揮し、皆さまに感動を届けられるようしっかりと準備していきます。」

また、東京五輪を最後に引退表明しているスポーツクライミング女子代表の野口啓代選手は「簡単には整理がつかないというのが正直なところ。東京五輪を集大成に位置付けていた私にとって、大好きな競技生活を一日でも長く過ごせることをポジティブにとらえる。心身ともに成長する時間にしていくと懸命に気持ちを切り替えた。」とコメントしています。この時期の地道な努力が後に大きく響いてきます。

学習も同じことが言えます。今だからこそ、各教科から出された課題に加え、自主的に昨年度の復習をするのも大切です。本校のホームページには、学びの支援サイトや東京ベーシック・ドリル、NHK等の学習サイトへのリンクを張っていますので、積極的に活用してほしいと思います。

先行きが見えない状況の中、保護者や地域の皆様には、ご心配をお掛けする面もあろうかと存じますが、今後とも本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。